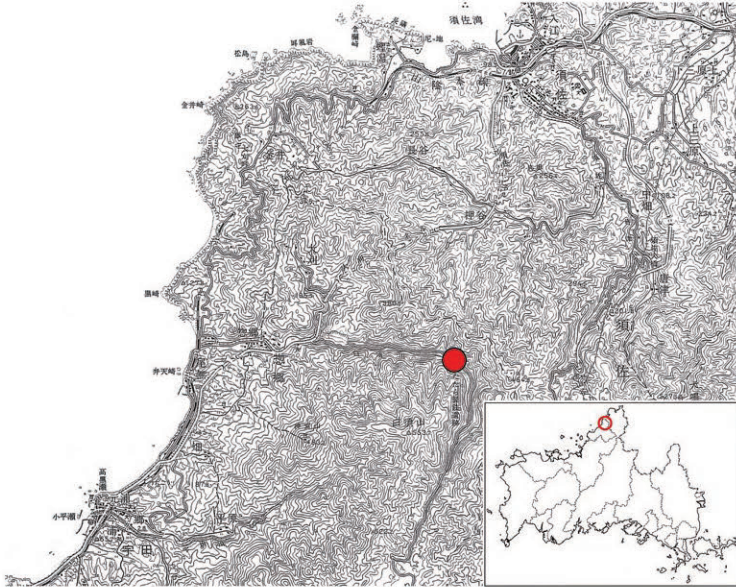


しらす せいてつ いせき 阿武町惣郷  
 白須たたら製鉄遺跡 [国史跡]



高殿



鉄池

発掘調査

**鉄をつくる施設** 山口県の北部、阿武町の中心部から東方の内陸部にある、たたら製鉄遺跡です。JR山陰本線宇田郷駅の北東約4kmの川沿いの、東西150m、南北70mの台地上にあります。

1979(昭和54)年からの3年間の発掘調査で、**高殿**、**砂鉄掛取(洗)場**、**鉄池**、**大鍛冶屋**、**元小屋**、**下小屋**などの**山内施設**が確認されました。遺跡からは、**鉤湯はね**、**金槌**などたたら製鉄に使う道具、製品の素材となる**はり鉄**、**鉄釘**、**鋸**、**和鋏**などの製品のほか、職人たちが使った食器などが見つかりました。

絵巻

**ここがポイント** 遺跡の保存状態は良く、幕末(江戸時代のおわりころ)に長州(萩)藩狩野派の絵師による白須たたらでの製鉄の様子を描いた絵巻「**先大津阿川村山砂鉄洗取之図**」の描写とも合致します。

砂鉄(山・浜砂鉄)の採取から製品の完成まで、一連の作業がくわしく描かれており、遺跡とともに西洋式の**溶鉱炉**を取り入れる以前の、日本の伝統的な製鉄の歴史を知ることのできる貴重な資料です。

◆アクセス 「惣郷上」バス停から白須川沿い徒歩約30分



「先大津阿川村山砂鉄洗取之図」部分 東京大学 工学・情報理工学図書館 工3号館図書室 所蔵

